

「雫石町体育協会の取り組み」

当協会では、町から指定管理を受け、雫石町総合運動公園（体育館、陸上競技場、野球場、テニスコート）、各地区運動場4面、町営クロスカントリースキー場、町営屋内ゲートボール場の施設管理、運営



を行っています。構成団体としては、種目別競技団体が18、各地区体育会が4、町小中学校体育連盟となっており競技スポーツの推進と生涯スポーツの普及、振興を目的に各種事業を展開しております。

町民及び加盟団体のスポーツ活動の育成と支援、スポーツ振興とスポーツ愛好者の拡大を目的に町からの委託事業である、スポ少野球大会（春季・秋季）、町民相撲大会、町民登山、町民スキー大会など11競技会・3事業を開催しジュニアからプラチナ世代まで沢山の方に参加していただいております。

自主事業としては、平成16年から開催している町民筋力アップ体力向上教室、ジュニア・アスレチック教室、中学3年生スポーツ教室などがあり、年間で延べ約1500人が受講し健康増進とともにいろいろなスポーツを楽しんでいます。また、幼児を対象にしたチャレンジ教室なども開催し楽しいスポーツ体験、プレゴールデンエイジの運動能力向上を目指しております。

他に雫石町保健センターや教育委員会と積極的に連携・協力してメタボリック症候群の予防・改善や高齢者の運動教室など様々な事業への講師派遣事業も行っています。

競技力向上に関しては、種目別競技団体と綿密に連携を図り、指導者の資質向上を目的にスポーツ医・科学講座やスポ少指導者講習会を開催し指導体制の強化に努めています。本年度は、

10月に県体育協会のご協力をいただき「ジュニアスポーツの心理学」と「スポーツにおける歯の重要性」というテーマで開催し町内より指導者、保護者27名の参加がありました。指導体制の拡充というポイントでは、町スポーツリーダーバンクの体制整備、広報活動による普及促進も必要になってくると思われます。

新規の事業としては、今年度より雫石町体育協会瓦版という機関紙を毎月発行し町内各種大会情報、健康情報、有力選手の紹介などの情報発信をしています。

昨年の希望郷いわて国体でアーチェリー競技の会場となって以来アーチェリー体験教室を開催し選手の発掘、育成を目指しています。また、各種アーチェリー競技大会が当陸上競技場で開催されアーチェリー競技が町民の目に触れる機会が増加しています。公開競技で実施された3B体操では、研修会や発表会で町営体育館を利用いただいております。

今後は、安全で利用者のニーズに合った施設管理と事業運営を展開し町民の健康増進、スポーツの普及、推進を図るとともに更なる競技力向上を目指し、オリンピックや世界選手権で活躍できる選手育成に取り組んでいきたいと考えております。

